

注3

大学番号：572

[平成22年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 経済政策学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 鎮西学院  
平成25年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	教育企画課
職名・氏名	カチョウ 課長 ミナミ シンロウ 南 慎郎
電話番号	0957-26-1234
（夜間）	080-5287-7811
F A X	0957-26-2063
e-mail	planning@wesleyan.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	5
3 施設・設備の整備状況、経費	12
4 既設大学等の状況	13
5 教員組織の状況	14
6 留意事項に対する履行状況等	18
7 その他全般的事項	20

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 鎮西学院

## (2) 大学名

長崎ウエスレヤン大学

## (3) 大学の位置

〒854-0082  
長崎県諫早市西栄田町1212番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(モリ タイイチロウ) 森 泰一郎 (平成14年4月)		
学部長	(カナハラ シュンスケ) 金原 俊輔 (平成20年4月)	(サトウ ヨシノブ) 佐藤 快信 (平成24年4月)	任期満了による改選の為 (24)
学科長等		<del>(サトウ ヨシノブ)</del> (イデ ヨシノリ) 佐藤 快信 井手 義則 <del>(平成22年4月)</del> (平成24年4月)	学科長が決定した為 (22) 任期満了による改選の為 (24)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)  
平成25年度に報告する内容 → (25)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代社会学部 経済政策学科 学士（経済政策学）	4年	70人	5人 年次人	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70人 ( - ) [ - ]	人	70人 ( - ) [ - ]	人	70人 ( 5 ) [ - ]	人	70人 ( 5 ) [ - ]	人	0.46 倍	
志願者数	54 ( - ) [ 4 ]	5 ( - ) [ 5 ]	42 ( - ) [ 5 ]	3 ( 0 ) [ 3 ]	35 ( 2 ) [ 4 ]	0 ( 3 ) [ 3 ]	41 ( 0 ) [ 4 ]	( ) [ ]		
受験者数	54 ( - ) [ 4 ]	5 ( - ) [ 5 ]	42 ( - ) [ 5 ]	3 ( 0 ) [ 3 ]	35 ( 2 ) [ 4 ]	0 ( 3 ) [ 3 ]	41 ( 0 ) [ 4 ]	( ) [ ]		
合格者数	53 ( - ) [ 4 ]	4 ( - ) [ 4 ]	42 ( - ) [ 5 ]	3 ( 0 ) [ 3 ]	35 ( 2 ) [ 4 ]	0 ( 3 ) [ 3 ]	34 ( 0 ) [ 4 ]	( ) [ ]		
B 入学者数	36 ( - ) [ 3 ]	4 ( - ) [ 4 ]	26 ( - ) [ 4 ]	3 ( 0 ) [ 3 ]	28 ( 2 ) [ 3 ]	0 ( 3 ) [ 3 ]	34 ( 0 ) [ 4 ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.57		0.41		0.40		0.48			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 3 ] 36	[ 4 ] 4	[ 4 ] 26	[ 2 ] 2	[ 3 ] 28	[ 0 ] 0	[ 4 ] 34	[ ]	
2年次	/		[ 2 ] 32	[ 4 ] 4	[ 3 ] 26	[ 2 ] 2	[ 2 ] 25	[ ]	
3年次	/		/		[ 2 ] 25	[ 6 ] 6	[ 3 ] 25	[ ]	
4年次	/		/		/		[ 2 ] 24	[ ]	
計	[ 7 ] 40	[ ]	[ 12 ] 64	[ ]	[ 16 ] 87	[ ]	[ 11 ] 108	[ ]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数			
平成22年度入学者	36人	14人	平成22年度	8人	3人	学生個人の心身に関する事情(2人)、成績不振(1人)、経済的事由(1人)、他教育機関への入学(2人)、福島原発事故による帰国(1人)、除籍(1人)	0.4%	
			平成23年度	5人	0人			就学意欲の低下(1人)、就職(4人)
			平成24年度	1人	0人			除籍(1人)
			平成25年度	0人	0人			
平成23年度入学者	26人	1人	平成23年度	0人	0人	就学意欲の低下(1人)	0.0%	
			平成24年度	1人	0人			
			平成25年度	0人	0人			
平成24年度入学者	28人	3人	平成24年度	3人	1人	他教育機関への入学(1人)、進路変更(1人)、経済的事由(1人)	0.1%	
			平成25年度	0人	0人			
平成25年度入学者	34人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0%	
合計	124人	18人					0.1%	

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<現代社会学部 経済政策学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	建学の理念と歴史	1 前	2			1					兼 1	
	大学入門 I	1 前	1			5	3	1			兼 3	
	大学入門 II	1 後	1			5	3	1			兼 3	
	コミュニケーションスキル	2 前	1								兼 3	
	キャリアデザイン	2 後	1								兼 1	
	基礎演習 I	1 通	2			5	3	1			兼 21	
	基礎演習 II	2 通	2			5	3	1			兼 21	
全学教育科目 英語	CALL ENGLISH I	1 前	1								兼 3	平成22年度より国際交流学科専門科目として開講する為(22)
	CALL ENGLISH II	1 後	1								兼 3	
	Reading & Vocabulary I	1 前	1								兼 4	
	Reading & Vocabulary II	1 後	1								兼 4	
	Reading & Vocabulary III	2 前		1							兼 1	
	Reading & Vocabulary IV	2 後		1							兼 1	
	スピーキング I	1 前		1							兼 2	
	スピーキング II	1 後		1							兼 2	
	スピーキング III	2 前		1							兼 2	
	スピーキング IV	2 後		1							兼 1	
	英語コミュニケーション I	2 前		2							兼 1	
	英語コミュニケーション II	2 後		2							兼 1	
	TOEIC PREP. I	1 前		1								
	TOEIC PREP. II	1 後		1								
TOEIC PREP. III	2 前		1									
TOEIC PREP. IV	2 後		1									
全学教育科目 コミュニケーション科目	中国語入門 I	1 前		1							兼 1	
	中国語入門 II	1 後		1							兼 1	
	中国語会話 I	1 後		1							兼 1	
	中国語会話 II	2 前		1							兼 1	
全学教育科目 日本語	日本語 I-a	1 前		1								日本語教育の充実のため、上記12科目を見直した為(23)
	日本語 I-b	1 前		1								
	日本語 I-c	1 前		1								
	日本語 I-d	1 前		1								
	日本語 I-e	1 前		1								
	日本語 I-f	1 前		1								
	日本語 I-g	1 前		1								
	日本語 I-h	1 前		1								
	日本語 I-i	1 前		1								
	日本語 I-j	1 前		1								
	日本語 I-k	1 前		1								
	日本語スピーキング I	1 前		1								
	日本語初級 I 総合	1 前		10							兼 9	
日本語初級 I 聴解・読解	1 前		1							兼 9		
日本語初級 I スピーキング	1 前		1							兼 9		
日本語初級 II 総合	1 前		10							兼 9		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 教育科目	日本語初級Ⅱ聴解・読解	1 前		1							兼 9	日本語教育の充実のため、上記12科目を見直した為(23)	
	日本語初級Ⅱスピーキング	1 前		1						兼 9			
	韓国語	1 前		1							兼 1		
	韓国語	1 後		1							兼 1		
	手話・点字	2 前		2							兼 1		
	手話・点字	2 後		2							兼 1		
	手話・点字	2 後		2							兼 1		
	情報処理	情報処理論	1 前	2								兼 1	
		情報処理演習Ⅰ	1 前	1								兼 1	
		情報処理演習Ⅱ	1 後	1								兼 1	
	情報処理	情報処理演習Ⅲ	2 前		1							兼 1	
		統計学Ⅰ	1 前		2								
		統計学Ⅱ	1 後		2								
	教養科目	哲学	1 前		2							兼 1	
		倫理学	1 後		2							兼 1	
		死生学	2 前		2							兼 1	
		法学	2 前		2							兼 1	
		法律学	1 前		2							兼 1	
		心理学	1 前		2							兼 1	
		経済学	1 後		2		1	1					
		日本史	2 前		2		1						
		外国史	2 後		2							兼 1	
		地理学	2 前		2							兼 1	
現代社会と科学		2 後		2							兼 1		
現代社会と芸術		1 前		2							兼 1		
健康の科学		1 前		2							兼 1		
スポーツ実習	1 前		1							兼 2			
医学一般	1 後		2							兼 1			
専門科目	導入科目	福祉コミュニティ総論	1 前	2			1	1			兼 3		
		共生社会論	1 後	2		1		1			兼 4		
		NICEキャンパスデザイン科目	2 後	2		5	3	1			兼 6		
		コミュニティサービスⅠ	1・2 通	2		5	3	1			兼 21		
	学部基幹科目	現代社会とキリスト教Ⅰ	1 前	2							兼 1		
		現代社会とキリスト教Ⅱ	4 後	2							兼 1		
		社会学原論	1 前	2							兼 1		
		コミュニケーション論	2 前	2							兼 1		
		ミクロ経済学Ⅰ	1 後	2			1						
		マクロ経済学Ⅰ	2 前	2			1						
		情報リテラシーⅠ	2 後	1					1		兼 1		
		情報リテラシーⅡ	3 前	1							兼 1		
		情報リテラシーⅢ	3 後	2							兼 1		
コミュニティサービスⅡ	3・4 通	2			5	3	1		兼 21				
インターンシップ	2・3 通	1							兼 2				
専門科目	学科基幹科目	ミクロ経済学Ⅱ	2 前	4			1						
		マクロ経済学Ⅱ	2 後	4			1						
		計量経済学	3 前	2			1						
		財政学	1 後	2							兼 1		
		国際経済学	2 後	2		1							
		地域経済論	2 後	2		2							
		地域づくり論	1 後	2		4	2	1					
		コミュニティ論	2 前	2					1				
		比較文化論	3 前	2		1							
		国際関係論	2 後	2							兼 1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科 基幹科目	社会心理学	2 前		2								兼 1
	経営学総論	2 前		2		1						
	マーケティング論	2 後		2								兼 1
	会計学	3 集中		2								兼 1
	簿記 I	2 前		2								兼 1
	社会調査	2 後		2		2						
展開 科目	経済学説史	2 前		2			1					
	日本経済史	2 後		2								
	アジア経済史	3 前		2		1						
	金融論 I	2 後		2		1						
	金融論 II	3 前		2		1						
	現代流通論	3 後		2								兼 1
	貿易論	3 前		2		1						
	現代中国経済事情	4 前		2								兼 1
	開発経済論	3 後		2								兼 1
	環境経済・政策論	3 後		2		1						
	資源・環境論	3 前		2		1			1			
	文化経済学	3 前		2								
	地方自治論	3 前		2		1						
	地方財政論	3 前		2								兼 1
行政法概論	3 後		2								兼 1	
専門 科目	経営管理論	3 後		2		1						
	経営情報システム論	4 前		2								兼 1
	労務管理論	3 前		2								兼 1
	地域情報論	3 後		2								兼 1
	地域振興論	3 後		2		2						
	コミュニティ・ビジネス	3 後		2		1		1				
	NPO論	3 後		2				1				
	島嶼開発論	3 前		2		1						
	民法	3 前		2								兼 1
	商法	3 後		2								兼 1
	企業法	4 前		2								兼 1
労働法	3 後		2								兼 1	
簿記 II	2 後		2								兼 1	
社会 開発 領域	社会開発と人間	2 後		2		3	2	1				
	地域文化開発論	2 前		2								兼 1
	地域宗教論	2 前		2		1						
	地域生活環境論	2 後		2		1						
	日本文化論	1 後		2		1						
	ジェンダー論	1 前		2			1					
	社会開発と教育	3 前		2			1					
	社会教育基礎論	2 後		2			1					
	社会教育実践論	3 前		2			1					
	国際協力論	3 前		2								兼 1
国際福祉論	3 後		2			1						
公衆衛生論	3 前		2								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目 外国語領域	英語コミュニケーションⅢ	3 前		2							兼 1	
	英語コミュニケーションⅣ	3 後		2							兼 1	
	英語クリエイティブ・ライティングⅠ	3 前		1							兼 1	
	英語クリエイティブ・ライティングⅡ	3 後		1							兼 1	
	英語クリエイティブ・ライティングⅢ	4 前		1							兼 1	
	英語クリエイティブ・ライティングⅣ	4 後		1							兼 1	
	英語プレゼンテーションⅠ	4 前		2							兼 1	
	英語プレゼンテーションⅡ	4 後		2							兼 1	
	中国語発音	1 前		1							兼 1	
	中国語基礎	1 前		1							兼 1	
	中国語読解	1 後		1							兼 1	
	中国語文法	1 後		1							兼 1	
	中国語精読	2 前		1							兼 1	
中国語会話Ⅲ	2 後		1							兼 1		
専門科目 外国語領域	中国語ヒアリングⅠ	1 後		1							兼 1	日本語教育の充実のため、上記12科目を見直した為(23)
	中国語ヒアリングⅡ	2 前		1							兼 1	
	日本語Ⅱ-a	± 後		±								
	日本語Ⅱ-b	± 後		±								
	日本語Ⅱ-c	± 後		±								
	日本語Ⅱ-d	± 後		±								
	日本語Ⅱ-e	± 後		±								
	日本語Ⅱ-f	± 後		±								
	日本語Ⅱ-g	± 後		±								
	日本語Ⅱ-h	± 後		±								
	日本語Ⅱ-i	± 後		±								
	日本語Ⅱ-j	± 後		±								
	日本語Ⅱ-k	± 後		±								
	日本語スピーキングⅡ	± 後		±								
	日本語中級Ⅰ総合	1 後		7							兼 9	
	日本語中級Ⅰ文字語彙	1 後		1							兼 9	
	日本語中級Ⅰ読解	1 後		1							兼 9	
	日本語中級Ⅰ聴解	1 後		1							兼 9	
	日本語中級Ⅰ語法	1 後		1							兼 9	
	日本語中級Ⅰスピーキング	1 後		1							兼 9	
	日本語中級Ⅱ総合	1 後		7							兼 9	
	日本語中級Ⅱ文字語彙	1 後		1							兼 9	
	日本語中級Ⅱ読解	1 後		1							兼 9	
日本語中級Ⅱ聴解	1 後		1							兼 9		
日本語中級Ⅱ語法	1 後		1							兼 9		
日本語中級Ⅱスピーキング	1 後		1							兼 9		
日本語上級総合	1 後		7							兼 9		
日本語上級語彙	1 後		1							兼 9		
日本語上級読解	1 後		1							兼 9		
日本語上級聴解	1 後		1							兼 9		
日本語上級語法	1 後		1							兼 9		
日本語上級スピーキング	1 後		1							兼 9		
日本語学	3 後		2							兼 1		
実習・演習	地域実習	1 通		2		6	3	1				
	コミュニケーション演習	2 通		2		2	2	1				
	社会調査演習	2 後		2		1						
	社会調査実習	3 通		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 関連科目	教育学	2 前		2								兼 1
	教育社会学	1 後		2			1					
	教育原理	1 前		2								兼 1
	教育心理学	3 前		2								兼 1
	教育相談・カウンセリング	3 後		2								兼 1
	教師論	1 後		2								兼 1
	発達心理学	2 前		2								兼 1
	学習心理学	2 後		2								兼 1
	社会科教育法 I	3 前		2								兼 1
	社会科教育法 II	3 後		2								兼 1
	社会科・公民科教育法 I	3 前		2								兼 1
	社会科・公民科教育法 II	3 後		2								兼 1
発展科目	専門演習 I	3 通	2			5	3	1				
	専門演習 II	4 通	6			5	3	1				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
23	159	0	182	23	156	0	179	
				[ ]	[ Δ3 ]	[ ]	[ Δ3 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	TOEIC PREP. I	1	1	一般	選択	平成22年度より国際交流学科専門科目として開講する為
2	TOEIC PREP. II	1	1	〃	〃	〃
3	TOEIC PREP. III	1	2	〃	〃	〃
4	TOEIC PREP. IV	1	2	〃	〃	〃
5	日本語 I-a	1	1	一般	選択	平成23年度より日本語教育科目を見直した為
6	日本語 I-b	1	1	〃	〃	〃
7	日本語 I-c	1	1	〃	〃	〃
8	日本語 I-d	1	1	〃	〃	〃
9	日本語 I-e	1	1	〃	〃	〃
10	日本語 I-f	1	1	〃	〃	〃
11	日本語 I-g	1	1	〃	〃	〃
12	日本語 I-h	1	1	〃	〃	〃
13	日本語 I-i	1	1	〃	〃	〃
14	日本語 I-j	1	1	〃	〃	〃
15	日本語 I-k	1	1	〃	〃	〃
16	日本語スピーキング I	1	1	〃	〃	〃
17	日本語 II-a	1	1	専門	〃	〃
18	日本語 II-b	1	1	〃	〃	〃
19	日本語 II-c	1	1	〃	〃	〃
20	日本語 II-d	1	1	〃	〃	〃
21	日本語 II-e	1	1	〃	〃	〃
22	日本語 II-f	1	1	〃	〃	〃
23	日本語 II-g	1	1	〃	〃	〃
24	日本語 II-h	1	1	〃	〃	〃
25	日本語 II-i	1	1	〃	〃	〃
26	日本語 II-j	1	1	〃	〃	〃
27	日本語 II-k	1	1	〃	〃	〃
28	日本語スピーキング II	1	1	〃	〃	〃

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目は、平成22年度より科目名を「English Proficiency I. II. III. IV」に変更し、同一学部の国際交流学科専門科目として開講しており、学生便覧に記載し、周知した。(22)  
平成22年度後期より、秋季入学制度を創設した。これに伴い、留学生のための日本語教育科目を見直した為。(23)

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{28\text{科目}}{182\text{科目}} = 0.15$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	16,519 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	16,519 m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	5,500 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	5,500 m <sup>2</sup>			
	小 計	22,019 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	22,019 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	6,162 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	6,162 m <sup>2</sup>			
	合 計	28,181 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	28,181 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	8,372 m <sup>2</sup> ( 8,372 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	8,372 m <sup>2</sup> ( 8,372 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	23 室	3 室	1 室	1 室 (補助職員 1人)	1 室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成23年4月 専任教授1名を新規 採用のため(23)		
	現代社会学部 経済政策学科		10 9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共有分 図書59,944冊 〔11,554〕 学術雑誌463冊〔23〕
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	経済政策学科	18,460 [2,287] (18,542 [2,143])	131 [10] (121 [10])	2,454 [2,332] 788 [666]	370 (407)	10 (4)	0 (0)	
		計	18,460 [2,287] (18,542 [2,143])	131 [10] (121 [10])	2,454 [2,332] 788 [666]	370 (407)	10 (4)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	531 m <sup>2</sup>		101 席		100,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	732 m <sup>2</sup>		—					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度
		教員1人当り研究費等	250千円	300千円	図書購入費	1,600千円	2,000千円	2,200千円
	共 同 研 究 費 等	150千円	150千円	設 備 購 入 費	3,000千円	3,500千円	3,000千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,120千円	870千円	870千円	870千円	千円	千円	
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎ウエスレヤン大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
現代社会学部 社会福祉学科	4	50	3	206	学士 (社会福祉学)	0.64	平成17年度	長崎県諫早市 西栄田町1212番地1	地名変更に伴う 住所名変更(24)
外国語学科 国際交流学科	4	40	2	164	学士 (国際交流)	0.75	平成17年度		平成23年度名称変更
地域づくり学科	4	-	-	-	学士 (地域づくり学)	-			平成22年度学生募集停止
福祉コミュニティ学科	4	-	-	-	学士 (福祉コミュニティ学)	-			平成18年度学生募集停止
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の  
上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。  
(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の  
平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置  
している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「-」とし, 「備考」に「平成  
〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代社会学部 経済政策学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	寺井法子(46)	平成22年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ	兼任	講師	田中さゆり(44)	平成22年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	予定者の辞退による担当者変更(22)
兼任	講師	實原隆志(32)	平成22年4月	法学 法律学 行政法概論	兼任	講師	伊山茂樹(34)	平成22年4月	法学 法律学	予定者の辞退による担当者変更(22)
兼任	講師	野口 豊(50)	平成22年4月	点字	兼任	講師	上野真木子(42)	平成22年4月		予定者の辞退による担当者変更(22)
兼任	講師	馬上祐香(25)	平成22年4月	CALL ENGLISHⅠ CALL ENGLISHⅡ					CALL ENGLISHⅠ CALL ENGLISHⅡ Reading&VocabularyⅠ Reading&VocabularyⅡ	予定者の辞退による担当者変更(22)
兼任	講師	大熊 眞(68)	平成22年4月	Reading&VocabularyⅠ Reading&VocabularyⅡ						予定者の辞退による担当者変更(22)
兼任	教授	山崎有介(49)	平成22年4月	CALL ENGLISHⅠ CALL ENGLISHⅡ Reading & VocabularyⅠ Reading & VocabularyⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ	兼任	講師	伊藤ハジメ(36)	平成23年4月	CALL ENGLISHⅠ CALL ENGLISHⅡ Reading & VocabularyⅠ Reading & VocabularyⅡ 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	教員一人当たりの 学科学目数の軽減のため
兼任	助教	南川 恵(42)	平成22年4月	開発経済論 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ		講師			開発経済論 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ 国際協力論	担当科目追加(23)
兼任	講師	開 浩一(39)	平成22年4月	心理学 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ					心理学 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ 社会心理学	担当科目追加(23)
兼任	講師	Andriy V. Kovalchuk(44)	平成22年4月	Reading & VocabularyⅠ Reading & VocabularyⅡ スピーキングⅠ スピーキングⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語クリエティブ・ライティングⅢ 英語クリエティブ・ライティングⅣ 英語クリエティブ・ライティングⅤ 英語プレゼンテーションⅠ 英語プレゼンテーションⅡ	兼任	講師	伊藤ハジメ(36)	平成23年4月	Reading & VocabularyⅠ Reading & VocabularyⅡ スピーキングⅠ スピーキングⅡ 英語クリエティブ・ライティングⅢ 英語クリエティブ・ライティングⅣ 英語プレゼンテーションⅠ 英語プレゼンテーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	教員一人当たりの 学科学目数の軽減のため
兼任	講師	古山 派入(35)	平成22年4月	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	兼任	講師	谷本和明(64)	平成23年4月		予定者の辞退による担当者変更(23)
兼任	講師	田原直美(33)	平成22年4月	社会心理学	兼任	講師	開 浩一(41)	平成23年4月		予定者の辞退による担当者変更(23)
兼任	講師	渡邊 弘(41)	平成22年4月	社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ	兼任	講師	福田正弘(64)	平成23年4月	社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ	
兼任	講師				兼任	講師	井上忠臣(67)	平成23年4月	社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ	予定者の辞退による担当者変更(23)
兼任	教授	胡振剛(53)	平成22年4月	中国語基礎 中国語読解 中国語ヒアリングⅠ 中国語ヒアリングⅡ 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ	兼任	教授	倉 敏生(57)	平成24年4月	中国語基礎 中国語読解 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービスⅠ コミュニケーションサービスⅡ 中国語ヒアリングⅠ 中国語ヒアリングⅡ	教員一人当たりの 学科学目数の軽減のため (24)
兼任	講師	内村公義(70)	平成22年4月	死生学	兼任	教授	山城 順(67)	平成24年4月		予定者の辞退による担当者変更(24)
兼任	講師	ハニノ・ロケット(26)	平成22年4月	スピーキングⅠ スピーキングⅡ スピーキングⅢ スピーキングⅣ 英語クリエティブ・ライティングⅠ 英語クリエティブ・ライティングⅡ	兼任	講師	伊藤ハジメ(36)	平成24年4月	スピーキングⅢ スピーキングⅣ	

兼任	講師	市川 森一 (66)	平成22年4月	現代社会と芸術	兼任	講師	片山 徹也 ほか (43)	平成24年4月		予定者の退去による担当教員変更 (24)
兼任	講師	渡瀬 一紀 (60)	平成24年4月	経営情報システム論 情報リテラシーⅢ					経営情報システム論	教員一人当たりの 学教科目数の確保のため (24)
					兼任	講師	杉原 敏夫 (67)	平成24年4月	情報リテラシーⅢ	
兼任	講師	寺井 法子 (46)	平成22年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 情報処理演習Ⅲ	兼任	講師	片山 徹也 (43)	平成24年4月		他学科専任教員採用による担当教員変更 (24)
兼任	講師	本馬 貞夫 (63)	平成23年4月	日本経済史	専任	教授	森巻 一郎 (67)	平成24年4月		予定者の辞退による担当教員変更 (24)
兼任	講師	松川 一 (62)	平成22年4月	簿記Ⅰ 簿記Ⅱ	兼任	講師	原口 浩二 (38)	平成24年4月		予定者の辞退による担当教員変更 (24)
兼任	講師	伊山 茂樹 (34)	平成22年4月	法学 法律学	兼任	講師	道山 治延 (51)	平成24年4月		予定者の辞退による担当教員変更 (24)
兼任	講師	上野 真木子 (42)	平成22年4月	点字	兼任	講師	上田 豊三 (42)	平成24年4月		予定者の辞退による担当教員変更 (24)
					兼任	講師	五道 常守 (60)	平成24年4月	社会教育基礎論	担当教員追加 (24)
専任	准教授	新田 良子 (40)	平成22年4月	社会開発と教育 社会教育基礎論 社会教育実践論 社会開発と人間 地域づくり論 コミュニケーション演習 教育社会学		教授		平成25年4月		昇格 (25)
専任	教授	渡辺 勝義 (65)	平成22年4月	日本史 比較文化論 地域宗教論 日本文化論	専任	准教授	加藤 久雄 (42)	平成25年4月		退職による担当教員変更 (25)
兼任	教授	胡 振剛 (53)	平成22年4月	中国語基礎 中国語読解 大学入門Ⅰ 大学入門Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ コミュニケーションサービズⅠ コミュニケーションサービズⅡ					中国語基礎 中国語読解 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	教員一人当たりの 学教科目数の確保のため (25)
兼任	講師	バーニー・ロウケッド (26)	平成22年4月	スピーキングⅠ スピーキングⅡ スピーキングⅢ スピーキングⅣ 英語クリエイティブ・ライティングⅠ 英語クリエイティブ・ライティングⅡ	兼任	講師	家田 隼麻 (23)	平成25年4月	スピーキングⅠ スピーキングⅡ スピーキングⅢ	担当教員変更 (25)
					兼任	講師	エリク・オルフス (36)	平成25年4月	スピーキングⅡ スピーキングⅣ	
					兼任	講師	ダニエル・グレイ (66)	平成25年4月	英語クリエイティブ・ライティングⅠ 英語クリエイティブ・ライティングⅡ	
兼任	講師	アドリアン・ウィリアムズ (44)	平成22年4月	英語クリエイティブ・ライティングⅢ 英語クリエイティブ・ライティングⅣ	兼任	講師	ダニエル・グレイ (66)	平成25年4月		担当教員変更 (25)
兼任	講師	谷本 和明 (54)	平成23年4月	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	専任	准教授	加藤 久雄 (42)	平成25年4月		担当教員変更 (25)
兼任	講師	ルカス・ハフト (36)	平成24年4月	スピーキングⅢ スピーキングⅣ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ					スピーキングⅠ スピーキングⅢ 英語コミュニケーションⅢ	担当教員変更 (25)
					兼任	講師	エリク・オルフス (36)	平成25年4月	英語コミュニケーションⅣ	
兼任	講師	渡瀬 一紀 (60)	平成24年4月	経営情報システム論	兼任	講師	西村 直孝 (53)	平成25年4月	経営情報システム論 情報リテラシーⅢ	担当教員変更 (25)
兼任	講師	杉原 敏夫 (67)	平成24年4月	情報リテラシーⅢ						
兼任	講師	道山 治延 (51)	平成24年4月	法学 法律学					法学	教員一人当たりの 学教科目数の確保のため (25)
					兼任	講師	榎垣 伸次 (30)	平成25年4月	法学	

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 △(学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置地の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AO)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	3	1	0	10	6	4	0	0	10	65	4
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	歳	名

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)  
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 該当なし

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 該当なし

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況  調 査 時  (平成22年5月)	現代社会学部経済政策学科、 社会福祉学科の定員充足率0.7 倍未満となっていることから、 学生確保に努めるとともに、 今後の定員の在り方について 検討すること。	経済政策学科は、私学事業団特別補 助「未来経営戦略推進経費」に採択 された中期経営計画に則り設置され たものであるが、開学初年度に定員 割れとなったため、秋季入学制度を 創設し、定員確保に努め、平成22年 度当初の51%から58%へと改善され た。平成23年度入学定員超過率は更 に悪化した。が、秋季入学制度により 改善に努める。また、平成24年度以 降、海外協定校との二重学位制度に より、編入留学生の積極的受入れを 予定している。 社会福祉学科については、平成23年 度より医療福祉コースを開設。これ により、入学定員超過率は前年比 132%となった。	
設置計画履行状況  調 査 時  (平成23年5月)	現代社会学部経済政策学科、 社会福祉学科の定員充足率が 0.7倍未満となっていることから、 学生確保に努めるとともに、 入学定員の見直しについて 検討すること。	経済政策学科は、開学後定員割れが 続いており、平成24年度入学者も定 員の40%にとどまっている。秋季入 学制度、海外提携校との二重学位制 度の創設、高校教員OBの採用によ る学生募集体制の強化等、留学生を 含め学生の確保に努力しているが、 成果に結び付かないでいる。 前身である旧地域づくり学科の卒業 生の公務員（市職員・警察官等）就 職実績が増加傾向にあり、この点を 学生募集上のアピールポイントとし て、地元の高校生の確保に更に注力 している。 平成23年度の履行状況面接調査時の 助言をもとに、完成年度以降のカリ キュラムの見直し、学科間の定員の 振り替え等、本年9月中には方針を固 め、実施計画を策定する予定であ る。	

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査時</p> <p>(平成24年5月)</p>	<p>現代社会学部経済政策学科、社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>経済政策学科では、秋季入学制度、海外提携校との二重学位制度の創設、高校教員OBの採用による学生募集体制の強化等、留学生を含め学生の確保に努力しているが、成果に結び付かないでいる。平成25年度入試においては、推薦・AO入試は前年度を割ったものの、一般・センター入試において前年度比169%見込みとなっている。</p> <p>前身である旧地域づくり学科の卒業生の就職率100%達成、公務員（市職員・警察官等）就職実績を学生募集上のアピールポイントとして、地元の高校生の確保に引き続き努めている。2014年度の完成年度以降のカリキュラム改革を計画しており、平成26年度入試に向け、地元高校生・地域のニーズにマッチした学科内容の改革に向け、取り組む。社会福祉学科においては、学生募集戦略上、国家試験対策担当の教員を新たに増員し、社会福祉士、精神保健福祉士の合格率アップに取り組むほか、地元専門学校との提携により、福祉・医療・健康関連の資格取得プログラムを開発予定である。</p>	
---	--	--	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<現代社会学部 経済政策学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	特になし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 学長直属の企画委員長のもと、学部長、各学科長、教務委員長等により専門部会を設置。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 原則として、年3回開催 c 委員会の審議事項等 長期休暇中を利用した全学的な研修プログラムについて 等  ② 実施状況 a 実施内容 ・ 特別な支援を必要とする学生支援に関する講習会 ・ eポートフォリオの活用研修 ・ キャリア教育に関する研究会 ・ 授業評価結果分析報告会 b 実施方法 ・ 長期休暇中、年2回の全学研修のほか、継続的な研究会の開催 c 開催状況(教員の参加状況含む) ・ 年2回の全学研修会は、教職員全員に参加を義務付けている d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 特に授業評価については、改善事項を専任教員全員に提出を義務付けている  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 前期・後期の学期末に実施 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 担当教員へデータで配布
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨にのっとり予定通り開学した。入学定員を確保すべく、入試方法の見直しを検討中。  
2013年度に完成年度を迎えるにあたり、2014年度以降の教育課程の改編を準備中。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成25年6月1日 公表予定

##### b 公表方法

・事業報告書として、大学ホームページ上に公開予定。

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、適合判定となった。  
平成27年度の2回目の受審へ向け、準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 2013年 6月 1日 )